小柳はやと通信

平成31年春号

三月議会閉幕

平成も残すとこ僅かとなりました。「地平天成（地平かに天成る）」国の内外、天地とも平和が達成されることを念願した平成から新しい元号へと移り変わります。昭和53年産まれの私にとっても、大きな節目となるように感じています。新しい時代が、より良き時代となるよう期待しています。さて、3月22日まで3月定例が開催されました。私は、代表質問を行い、賛成討論をするなど、積極的に議会活動に取り組んだ議会となりました。大野市長体制で初めての本格予算となる、平成31年度予算案は、これまでのハード型からソフト重視へ、また、財政規律も重視する転換が行われました。人口動態の変化が急激に進む現在において、行政の役割についても移り変わりが進みます。しっかりと対応しながら、平穏な『毎日の生活』とワクワクする『未来志向』が両立していく黒部市となるよう引き続き議会活動に気を引き締めて取り組んで参ります。

平成31年度黒部市予算財政

（単位：千円）

区分		本年度	構成比	前年度	構成比	対前年比較
義務的経費	1．人件費	2,913,797	14.3%	2,882,231	13.9%	31,566
	2．扶助費	3,084,916	15.1%	2,997,253	14.5%	87,663
	3．公債費	2,384,253	11.7%	2,395,054	11.6%	△ 10,801
小計		8,382,966	41.1%	8,274,538	40.0%	108,428
4．物件費		2,623,622	12.9%	2,609,282	12.6%	14,340
5・維持補修費		230,785	1.1%	242,072	1.2%	△ 11,287
6・補助費等		3,800,449	18.6%	3,805,055	18.4%	△ 4,606
7．積立金		6,082	0.0%	4,006	0.0%	2,076
8．投資・出資金		500,476	2.5%	487,853	2.4%	12,623
9．貸付金		363,700	1.8%	363,220	1.8%	480
10．操出金		1,499,032	7.4%	1,449,266	7.0%	49,766
小計（4～10）		9,024,146	44.3%	8,960,754	43.3%	63,392
11．投資的経費		2,950,888	14.5%	3,416,708	16.5%	△ 465,820
（1）普通建設事業費		2,919,388	14.3%	3,375,148	16.3%	△ 455,760
	ア 補助事業費	1,647,609	8.1%	1,636,714	7.9%	10,895
	イ 単独事業費	1,271,779	6.2%	1,738,434	8.4%	△ 466,655
（2）災害復旧費		31,500	0.2%	41,560	0.2%	△ 10,060
12．予備費		30,000	0.1%	30,000	0.1%	0
合計		20,388,000	100.0%	20,682,000	100.0%	△ 294,000

義務的経費が増加傾向です。主な要因は、扶助費の増加です。扶助費は、老齢人口の増加（対象人口の増加）と、子育て支援の拡充（金額の増加）が増加していく要因と考えられます。

操出金が増加傾向です。市民病院会計、牧場会計への操出が増えています。一方、上下水道は料金改定を行った効果が表れています。

投資的経費は、前年度より中学校建設費が縮減したことにより減少しました。今後、道の駅や市民交流センター建設時は増加します。

黒部市は、これまでの合併効果により基金や貯金（財調基金）が、他市と比べると多く、今すぐ市民生活に影響する心配は少ないです。